

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：土木費 項：都市計画費 目：都市公園費

事業名 養老公園維持管理費（維持補修費以外）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 都市公園・交通局 都市公園課 活用推進係

電話番号：058-272-1111(内4915)

E-mail：c11669@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,040 千円 (前年度予算額： 4,040 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,040	0	0	0	0	0	175	0	3,865
要求額	4,040	0	0	0	0	0	175	0	3,865
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

①経緯

養老公園はサクラ、モミジとならびアカマツの名所となっているが、松食い虫の被害が問題となっており、松枯れ被害が増大傾向にあることから、松枯れ対策を順次進めている。

②現状

アカマツ林が松食い虫による食害により、毎年50～100本程度が枯損しており、枯損したアカマツをそのまま放置すると被害が更に広がり、腐食による倒木の発生により、来園者に危害が及ぶ恐れがある。そのため、害虫であるマツノマダラカマキリを広域的に駆除し、松枯被害に対する対策を講ずる必要がある。

③目的

伐採処分による枯損の拡大防止を図る。

(2) 事業内容

①公園内樹木の松食い虫防除等

経費内容	樹木伐採	8本
	樹幹注入	40本
経費内訳	伐採処分費	3,865千円

②公園施設に必要な土地の借上料等

経費内訳	土地の借上料	1式
経費内訳	土地の借上料	175千円

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 県 (3,865千円)、国有地使用者 (175千円) 負担

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,865	枯損したアカマツの伐採費用
使用料賃借料	175	国有地の借り上げ料
合計	4,040	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

- ・ 快適かつ安全な公園管理のため、継続的に費用の確保が必要。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 景観を維持するとともに、枯損したアカマツによる倒木や枝落下等の事故を未然に防止する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 ()	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 ()	達成率
						%

○指標を設定することができない場合の理由

松食い虫により枯損したアカマツの本数の把握及び予測が困難であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等） 松食い虫により枯損したアカマツの伐採 8本 松食い虫により枯損したアカマツの樹幹注入数 40本
令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等） 松食い虫により枯損したアカマツの伐採 14本 松食い虫により枯損したアカマツの樹幹注入数 10本
令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等） 松食い虫により枯損したアカマツの伐採 17本 松食い虫により枯損したアカマツの樹幹注入数 19本
指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	松食い虫被害にあったアカマツを伐採することで、周辺樹木への被害拡大が抑制され景観の維持ができ、枯損したアカマツによる倒木や枝落下等の事故を未然に防止できる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	松食い虫被害にあったアカマツをピーク時には年135本もの伐採処分を行ったが、最近では年に40本程度まで被害木を減少させることができている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	来園者への危険性が高い箇所から優先的に伐採し事故防止を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 今後も松食い虫によるアカマツの被害が予想される。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 公園の景観の維持、倒木や枝落下等の事故防止のために引き続き取り組んでいく。樹幹注入を強化し、松枯れを未然に防ぐ取組みをさらに進めていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	